

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		10-	10
事業名	健康づくり推進事業費	会計	款	項	目
		一般	4	1	3
施策	2 人にやさしいまち	課名	健康長寿課		
	2-1 健康に暮らすまちをつくる	係名			
	2-1-1 自らの健康づくりの推進				
主要施策	①健康づくり意識の高揚と主体的活動の促進		⑦食育の推進		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	健康教育、保健指導を実施し、住民の健康水準の向上を図り、豊かな生活を送ることができる。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 東員町食生活改善推進協議会へ委託し、栄養改善事業を実施する。 歯周病の予防を目的に歯科衛生士による「歯周病予防教室」を実施する。 糖尿病について、その予防方法等の知識の普及・啓発を図るため、「糖尿病予防教室」実施する。 医師又は精神保健福祉士によるこころの相談窓口を開設するとともに、自殺予防対策、こころの健康づくりを目的に、専門家による講演会を実施する。 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
	1	各健康講座参加者数	219	85	40	人	↑	200
2	各健康講座参加者満足度	96.0	98.7	100	%	→	90	
3								
4								
5								
			令和元年度 (決算)		令和2年度 (決算)		令和3年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			8,467		5,705		6,206	
財源内訳	直接事業費 A		3,805		1,103		2,264	
	うち一般財源		3,805		1,103		2,264	
人件費 (千円) B			4,662		4,602		3,942	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.63		4158		0.57	
	臨時職員 (人・千円)		0.28		504		0.1	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	特定健康診査のデータを活用し、ハイリスク者の抽出を行い、健康教室の開催、個別支援を実施する。	③取組の課題	糖尿病など疾病に対する意識が低い住民への普及啓発が必要。
②R2年度に実施した取り組み	ハイリスク者を抽出し、教室及び個別支援を行い、健康状態の把握ができ受診につなげることができた。	④今後の改善計画	今後も、糖尿病の予備軍は多いため、保険事業 (国保、後期高齢、介護) のデータを活用しながら、ハイリスク者の把握を行い、個別支援につなげる取り組みを実施する。